

4. 数学

科目	数学 I ①	単位数	2	区分	必履修	
教科書・教材	実教出版「高校数学 I」		配当年次	1年次		
授業のねらい・概要						
中学校の数学の知識を確認しながら、授業での基礎・基本となる計算力を高める。						
授業の進め方						
授業プリントを中心に講義と問題演習を繰り返して学習する。						
		学習の内容			考查	時数
前期	4月	数と式（中学校の知識の確認） ・正負の数、さまざまな有理数の四則演算			中間	17
	5月					
	6月	文字式の計算、単項式の次数と係数 ・多項式の加法と減法、乗法 ・展開の公式			期末	
	7月					
9月						
後期	10月	因数分解 ・複雑な式の因数分解			中間	17
	11月					
	12月	方程式 ・1次方程式、連立方程式 ・1次方程式の応用			期末	
	1月					
2月						
評価の方法						
出席状況、授業態度、提出物、定期テストを総合的に判断する。						
備考						
1, 2年次で分割履修。						

科目	数学 I ②	単位数	2	区分	必履修	
教科書・教材	実教出版「高校数学 I」		配当年次	2年次		
授業のねらい・概要						
中学校の数学の知識を確認しながら、2次関数、三角比など高等学校での新しい内容を学び、数学の教養をより深める。						
授業の進め方						
授業プリントを中心に講義と問題演習を繰り返して学習する。						
		学習の内容			考查	時数
前期	4月	1次不等式 ・不等式とその解、不等式の応用、連立不等式			中間	17
	5月					
	6月	平方根 ・根号を含む式の計算 ・分母の有理化			期末	
	7月					
9月						
後期	10月	2次関数 ・2次関数とそのグラフ			中間	17
	11月					
	12月	三角比 ・三角比の値 ・三角比の利用、相互関係			期末	
	1月					
2月						
評価の方法						
出席状況、授業態度、提出物、定期テストを総合的に判断する。						
備考						
1, 2年次で分割履修。						

科目	数学活用	単位数	2	区分	選択	
教科書・教材	実教出版「数学活用」		配当年次	3年次または4年次のどちらか		
授業のねらい・概要						
数学と人間のかかわりや数学の社会的有用性についての認識を深めるとともに、事象を数理的に考察する能力を養い、数学を積極的に活用する態度を育てる。						
授業の進め方						
授業プリントを中心に講義と問題演習を繰り返して学習する。						
		学習の内容			考查	時数
前期	4月	計算の復習 ・計算の復習			中間	17
	5月					
	6月	いろいろな場合の数 ・身の回りの図形 ・数学的表現のくふう ・経済と数学			期末	
	7月					
	9月					
後期	10月	測定と数学 ・コンピューターと人間活動			中間	17
	11月					
	12月	数と人間 ・図形と人間 ・数学と文化			期末	
	1月					
2月						
評価の方法						
出席状況、授業態度、提出物、定期テストを総合的に判断する。						
備考						
特になし						

科目	わかる数学	単位数	2	区分	選択		
教科書・教材	なし			配当年次	3年次または4年次のどちらか		
授業のねらい・概要							
・1, 2年次に学習した数学 I の内容を補いながら、数学の基礎・基本となる計算力を高め基礎力を身に付けるとともに、高校数学の複素数や虚数解についても触れながら数学の教養を深めることを目標とする。							
授業の進め方							
授業プリントを中心に講義と問題演習を繰り返して学習する。							
		学習の内容			考查	時数	
前期	4月	・正負の数の計算・文字式の計算・無理数の計算			中間	17	
	5月						・因数分解
	6月	・1次方程式・連立方程式					
	7月						・2次方程式
	8月						・複素数
9月	・虚数解の2次方程式	期末	18				
後期	10月	・1次関数			中間	17	
	11月						・2次関数
	12月	・三角比の利用・三角比の相互関係					
	1月						・三角比の拡張・三角形の面積
	2月						・正弦定理と余弦定理・正弦定理と余弦定理の利用
評価の方法							
出席状況、授業態度、提出物、定期テストを総合的に判断する。							
備考							
特になし							

科目	数学A	単位数	2	区分	選択		
教科書・教材	実教出版「高校数学A」			配当年次	4年次		
授業のねらい・概要							
順列、組合せ、確率について、基礎的な知識と技術の習得を図り、それらを活用する能力をつけるとともに、数学的な考え方、ものの見方ができるようにする。							
授業の進め方							
授業プリントを中心に講義と問題演習を繰り返して学習する。							
		学習の内容			考查	時数	
前期	4月	順列と組合せ			中間	17	
	5月						・積の法則・順列
	6月	・重複順列・円順列・順列の応用					
	7月						・組合せ・組合せの応用
	8月						集合
9月	・集合と部分集合・共通部分、和集合、補集合・集合の要素の個数	期末	18				
後期	10月	確率とその基本性質			中間	17	
	11月						・事象と確率・確率の計算
	12月	・和事象の確率・余事象の確率					
	1月						・独立な試行と確率
	2月						・期待値
評価の方法							
出席状況、授業態度、提出物、定期テストを総合的に判断する。							
備考							
特になし							

科目	ベーシック数学	単位数	1	区分	選択		
教科書・教材	自作プリント等			配当年次	1年次		
授業のねらい・概要							
義務教育段階までの学習内容を中心に、高校数学を学習する上で必要な計算力やものの見方を定着させていくことをねらいとする。							
授業の進め方							
分数の計算問題を中心に、毎日1枚ずつプリント学習を行う。							
		学習の内容			まとめ	時数	
前期	4月	整数の四則演算			無	40	
	5月						分数①（通分なし）
	6月	倍数と約数（最小公倍数，最大公約数）					
	7月						分数②（通分・約分）
	8月						分数③（加減）
9月	分数④（加減）	有	42				
後期	10月	分数⑤（乗法）			無	38	
	11月						分数⑥（除法）
	12月	正負の計算①（加減）					
	1月						正負の計算②（乗除）
	2月						正負の計算③（まとめ）
評価の方法							
毎時の課題の内容及び提出状況・授業態度・出席点・課題プリントの内容を総合的に判断して評価する。							
備考							